第4回関東地区中学校

修旅研究発表会開く

付添費の交付など
地区ぐるみで対策強化

関東地区中学校修学旅行委員会主催、関東各県教委、中学校長会、全修協の後援、日本科学技術振興財団、日本万国博協会協賛による第四回研究発表会は十一月二十五日午後十時から東京・千代田区の科学技術館に多くの来賓をはじめ約百二十名の校長、教諭が参集して開かれた。テーマは〝新しい修学旅行への志向〟。埼玉の高田福松、栃木の君島光夫、茨城の小泉義、千葉の本間康一氏らが豊富な経験と考察をまとめあげた研究発表を行ない、今後の修学旅行へ新しい示唆を与えた。最後に「新機軸による修学旅行」と題する全国地理教育研究会長・東京都江東商業高校長生野真直氏の講演があり盛大のうちに終了した。

開会に先立ち映画「万国博ニュース」が上映されたあと、目崎雄副会長（群馬県中学校長会長）の挨拶、徳橋善四郎会長（埼玉県中学校長会長）の開会の辞、後援団体を代表して全修協の白滝事務局が祝辞をのべた。協賛団体として日本科学技術振興財団・科学技術館の岩崎正夫業務部長、日本万国博協会の倉田五郎東京事務所次長が挨拶。続いて来賓の文部省初中局中学校教育課中満知生氏、国鉄旅客局営業課長補佐上田定男氏らがそれぞれ挨拶した。

同委員会運営委員長の塚田武男氏（栃木県中学校修学旅行部長）が議長となり四氏による研究発表が行なわれた。

高田福松氏

君島光夫氏

小泉義氏

本間康一氏

価値高い修学旅行
高田　福松氏

日本の特異性ある修学旅行で年間何十万人の児童生徒がほとんど無事故で実施されている事実を不問に付して批判に終始するだけでは問題の解決にならない。今後、旅に出て、そこに足跡を印することの意義は大きい。現在、中高校生は修学旅行として関西や九州あるいは北海道各地で行なわれている。これは数十年も以前から学校行事として行なわれていたものに、交通機関の発達、あるいは生活の余裕もでき、遠距離化し、また費用もかさんできた。しかし結論として、その土地を踏むという事実、学校外で統制のとれた規律ある行動は、青少年の感受性の強い時期に無限の価値あることも事実だと思う。（埼玉県幸手中学校長）

諸条件の整備から
君島　光夫氏

一、修学旅行の諸条件の整備が必要である。いまだ問題は充分に解決されておらず、また、解決しなければならぬ。㋑父兄・社会対策＝修学旅行無用論、弊害論、経費負担過重などの問題に対する対策が急務である。㋺安全対策＝交通機関の整備、医療団、食中毒防止も確立しなければならない。㋩職員対策＝旅費の別枠、勤労時間、付添教員の人数なども今後に課せられた問題である。

二、より教育的な実施を求める。これは運営の再検討であるが、それには㋑事前指導・事後指導の重要性を認識したい。㋺体制の確立もはからねばならない。人的組織として学校内の修学旅行委員会の結成が急務である。（栃木県には校内の体制を支える県中学校長会下都賀地区連合団などがあり、定期的に会合をひらいている）そのほか生徒側の組織化も必要である。

三、事前、事後指導の具体的着眼点を明瞭にすること。これには修学旅行の目的を明らかにしておくこと、例えば作業課題の設定も必要である。（栃木県南大嶋中学校長）

第4回関修委研究発表会（科学技術館で）

修旅基準に弾力性
僻地校へ緩和策

【青森】青森県の市町村教育長会（会長＝杉田貞作青森市教育長）ではこのほど開かれた定期総会で「修学旅行の実施基準がきびしすぎるから緩和してほしい。また、付添教職員を増やしてもらいたい」と県教委に要望することを決めた。

青森県教委は昨年二月、修学旅行費の軽減などを目的に本年度から小学校の二泊三日を一泊二日以内に、中学校の四泊五日を二泊三日以内に、高校は八泊九日を五泊六日以内にそれぞれ短縮する基準を示した。また、引率教職員は参加児童生徒三十人までは一人だけ新基準で実施、その結果をまつことにしていたものだが、今回の総会で要望が表面化した。

これに対して県教委の菊地指導課長は次のように語っている。「基準のなかで弾力性を持たせたいと考えている。各学校からのアンケートも取ってみたい。付添教職員の旅費は県費に切りかえたが増員は予算の関係もあるので考慮を要する。しかしわれわれとしては増員することにはやぶさかではない」

三十人を越えるときは三十人増すことに一人、さらに児童生徒百五十人までは一人、百五十人を越えるときは一人増加とした。

ところがことし六月に開かれた修学旅行改善協議会の席上、地教委教育長や小中学校長から「この新基準は画一的で、へき地校などの地域性が考慮されていない。これでは満足な修学旅行ができず、安全性にも欠ける。また、引率教職員の数は不足、増員が必要だ」との声が出た。とりあえず一年間

瀬戸内海に〝動く橋〟
関汽のフェリー六甲丸が誕生

阪神と四国高松を三時間五十分で結ぶ関西汽船（長谷川茂社長）のジャンボ・フェリー〝六甲丸〟が誕生、十一月十八日大阪弁天埠頭で就航のレセプションを開いた。運輸関係者をはじめ全修協の山本理事長も出席、フェーリとしては日本最大の同船に目をみはっていた。

六甲丸は二六九七トンで双胴型、全長八三・五五㍍、幅二五・二五㍍、旅客定員五八八名、上部甲板には乗用車五〇台、主甲板に大小トラック五二台、大型バスなら三五台が積める。十一月二十日から一日二往復半、高松―神戸間を三時間五十分でつなぎ、阪神―四国への最短の〝動く橋〟として脚光をあびる。【写真は新フェリーの六甲丸】

事故防止に万全を
小泉　義

修学旅行を安全に実施するための運営はどうすればよいか。またその問題点は何か。水戸市では関西方面へ十校行っているが、修学旅行委員会・幹事会を結成して諸対策をたてている。これには同委員会で作成した事前指導計画案があり、非常に詳細なものである。とくに保健、事故防止のための計画は慎重であって、次のような措置を講じている。①宿泊、旅行地の下見実施（保健面、災害防止面）②医師、看護婦などの派遣についての申請③京都・奈良保健所、消防署、警察署に協力依頼状の発送、避難訓練の実施④派遣看護婦と養護教諭の打合わせ（救急薬、整備措置など）⑤旅行共済の手続き、書類の提出法⑥事前指導資料作成上、安全対策についての内容（昨年度までの主な事故の原因など）⑦生徒の健康状況の調査、特異体質の生徒の医師による指導。（茨城県水戸市立第五中学校教諭）

修旅廃止論は早計
本間　康一

現在行なわれている修学旅行に対して①本来の教育的意義や価値が失なわれているのではないか②多額の費用を要し、父兄の負担が過重である③交通事情が悪化し、安全対策上憂慮されている④観光地の混雑のため史跡などについて十分学習できない⑤進学率が上昇し高校での旅行と重複するので無意味である⑥無理な日程が組まれるため疲労度が高く、効果的でないなど反対意見があるが、直ちに廃止論に結びつけるのは早計であろう。

文部省の調査では対象の五三％が修学旅行を是とし、その意義を認め、実施を主張している。本調査でも〝今まで通り続けてほしい〟が四一％、〝改善して続けたほうがよい〟五〇％で、九一％が修学旅行の価値を認めている。従来の観念的な教育価値論から脱皮して、質的、方法的に改善をめざし、望ましい修学旅行に育てたい。（千葉県八間中学校教頭）

天理教宿舎を開放
万国博で中高校生に

日本万国博開催時の宿泊施設不足を補うため万国博協会では奈良県天理市にある天理教本部の信者詰所の一部を開放してほしいと要望していたが、天理教本部の快諾を得たので次のような要項を全国都道府県教委および特別市教委に通知した。

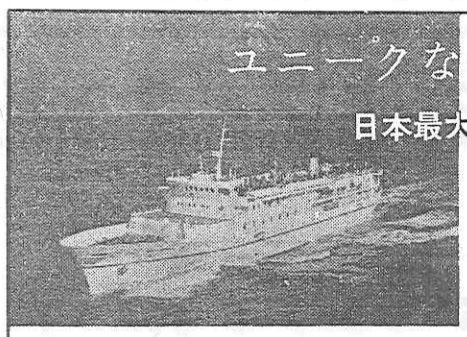
対象は高校、中学校。希望校は各都道府県にある天理教教務支庁および指定する教会で申込期間は十二月二十日まで。宿泊受入期日は四月九日―同十三日、五月一日―同二十一日、六月一日―同二十日、七月一日―同二十日、八月八日―同二十日、九月一日―同十五日。宿泊謝礼は一泊二食付き八百円で昼食（弁当）は二百円。

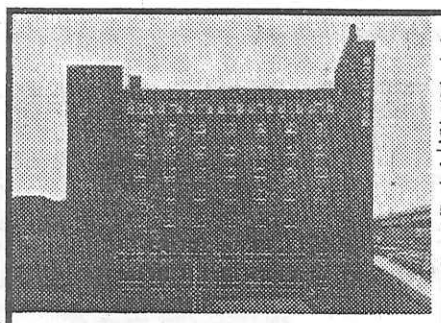
横顔
人間性復活を念願
＝全修協大阪支部長＝
石川為蔵氏

★…〝相手の悲しみをわが悲しみとし、相手の喜びをわが喜びとしていく心が神の心であり仏の慈悲であり、人間性の粋である。これが教育の基本であらねばならぬ〟と石川為蔵氏は「精神の復興」を唱えておられる。（本紙七月号参照）この一言で氏の全貌がうかがい知れる校長、視学、学務課長、教育委員長―といえば、いかにも堅苦しい古風な人物を想像するが、案に相違しウィットはたっぷり物わかりの早い、至って気易い今どき珍しい教育人だ。

★…一度約束したことは必ず果たしてくれるし、誰とも分けへだてなく話し合ってもらえる人、だから司法関係の仕事をまかされるのも当然である。「生粋の浪花っ子魂が深い知性によって培われた英国紳士」といわれているほど。関西切っての教育界の大立物である。修学旅行の指導と教育にますます張り切るきょうこのごろ、にこやかな顔をさらにほころばせながら、師走の町なかを東奔西走する石川氏である。

★…天王寺師範卒、大正十四年大阪府視学、昭和十四年大阪市視学、翌年同学務課長、二十三年府教育委員に当選、続いて同委員長、以後三十一年九月まで委員長をつとめた。三十二年関西芸能教能協会理事長、三十三年に全修協大阪支部長に就任修学旅行指導のため尽力している。教育界はかりでなく民生保護や調停など法曹関係の要職にもついている。昭和十三年には小学校教育への功績で文部省初等教育振興会から選奨、二十五年は教導感化の功で文部大臣から、また、三十九年には社救関係の功労で大阪府教委からそれぞれ表彰されている。


ユニークな修学旅行に
日本最大の豪華観光船を
ふじ
〈3,000トン・22ノット〉
（完全冷暖房・定員1,800名）
45年4月には〈ふじ〉と同型の〈にほん丸〉も就航します。
修学旅行専用船としてご利用ください。
Ⓐ大島運輸
東京支店・中央区日本橋通1―6（浅野ビル）
電話　東京（273）8911（代表）


東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL（03）585－1046（代表）
東京コマ旅行会館

利用度高い南国の樹

―奄美徳之島の植物をみる―（下）

牧野晩成

大島つむぎの染料

ヤシ類は南国に多い植物ではあるが、この島には少なく、奄美大島でとまった山羊島ホテルの庭にヒロウ、クロツク、ココヤシ、カナリーヤシ、ワシントンヤシ、シュロチク、カンノンチクなどが栽植され、シュロは各地の庭でみられた。ヒロウの自生は宮崎県の青島が有名で、その葉で作ったうちわは南九州や琉球の名物である。

そのほかシャリンバイは本州中部以西、四国、九州の海岸にはえる常緑低木で、この樹皮を大島つむぎの染料とする。大島つむぎは奄美大島地方の特産で、その柄の基本形はこの地方にすむ蕪へびのハブのはだの模様から来たものだそうである。

観賞用の栽培植物でめだつものはハイビスカスといわれるブッソウゲで、赤い大輪の花は南国にふさわしく、おもに生けがきにしている。このなかまで八重咲きのものをスイフヨウといって花は一日でしぼむが、朝のさきはじめは白午後にうす桃色、夜にかけては赤くなるので、この色の変化を酒の酔いにたとえ、酔芙蓉の名がつけられたという。本土に栽植する中国原産のフヨウの一品種である。

ブーゲンベリアはブラジル原産の熱帯性観賞植物で、幹は長いつるになってとげがあり、本土ではふつうに温室で栽植する。この島では庭によく育ち、赤紫色の花が美しい。赤紫色の花びらのようにみえる三枚のものは実は包という器官で本物の花はその内側にさき黄白色で小さい。

用途広いパパイヤ

パパイアはメキシコ原産の果樹で花は葉のねもとにつくが、果実が熟するころには葉は落ちるので果実は十数個も幹に重なりあってつき、千成りびょうたんを思わせるようで、よく実のつくものは一年に百個近くもなるという。果実は黄熟し長さ二十㌢㍍もある楕円形で果肉があつく、レモンの果汁や少量の食塩を加えると一層風味をますという。熟果を生でたべるほか若い果実は煮たり、汁の実にしたり、酢づけ、粕づけ、塩づけなどにし、若い葉は煮こぼして野菜の代用にするなど用途は広い。本土では大きな温室でよくみかける。

バナナは風当りの弱い谷間などに栽植されているが、野生状態にみえる。ここのはモンキーバナナといって台湾のものより果実が小形である。バナナはふつう青い果実をとり室に入れて追熟させ、皮が黄色になったものを食べるが、ここで売っているものはどれも青バナナではあるが、食べてみるとややしぶ味はあるが風味はよい。

パイナップルは徳之島で多く栽培しているが雑草のよく茂った畑であった。かんづめ工場もあるがとうてい台湾のものにはたちうちできないだろうと思えた。

畑に栽培しているものではサトウキビが第一で、製糖工場も数か所でみかけた。

サトウキビはインド原産といわれ、日本では西暦九百十八年に砂糖の名で記録があり、すべて輸入で貴重な糖として扱われていたという。江戸時代になって平賀源内の研究で日本での栽培に成功し、香川県がその特産地となったという。奄美諸島でも江戸時代に栽培し、砂糖は島津藩の大きな財源であったようである。日本では東京都が栽培可能の北限で、香川県のほか鹿児島、沖縄が盛んな地方である。

青い海にサンゴ礁

栽培に適する気温は十八度―三十度で温暖適湿の地がよいが、時に酷暑、乾燥の気候をまぬえ、海風の吹く地方がよいとされている。

増殖は茎の頂を七十㌢㍍ほどに切り、さし木にするのであるが、奄美諸島ではこの方法でふやし二、三年間に数回かりとって液汁をしぼり砂糖にするそうである。

雑草や雑木の類は省略するが、徳之島の飛行場にはテンニンギクが所せまいまでに開花していた。この草花は北米原産の観賞用草花であるが、飛行場に多いことはアメリカとの交通に関係があり、今後広範囲に広がるものと思われる。

海水は沖は紺青、岸辺から遠いサンゴ礁の突端で白波がたち、その手前の海水は草緑で、白い砂浜とともにすばらしい色調である。

サンゴはテーブル状に発達するテーブルサンゴが多く、グラスボートから海底をみると白、緑、紫が前面に一望できる岬・島・海岸線も、ことごとく万葉の史蹟といってよく、多くの秀歌を止めている。そのいくつかを列記してみよう。

赤く大きいハイビスカスの花
徳之島空港近くで筆者うつす

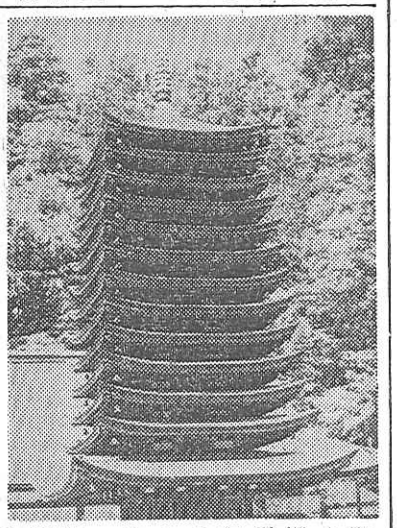
修学旅行のポイント

山あいに聳える十三重の塔

多武峰 談山神社

奈良県桜井市多武峰にあり、藤原鎌足の長子定慧（じょうえ）和尚が天武天皇の白鳳七年（六七九）唐から帰り、父の遺骨をここに移したといわれる。したがってかかったものがみごとで、その間に若干のエダサンゴ類をみかけるが、ピンクのものはみかけなかった。

関東地方は植物の水平分布からいえば暖帯北部と温帯南部の植物がまじわっているところである。その意味から関東の植物を調べるためには亜熱帯から暖帯、亜熱帯から温帯への植物分布を考察する必要にせまられるわけである。今回の旅行で関東でみられるものの中で、どんな種類が亜熱帯まで分布しているかを確かめることができたので、いずれ北海道の植物をみて亜熱帯との関連は考えてみたいと思っている。（東京都千代田区立西神田小学校長）



祭礼は鎌足。

焦点は神朗十三重塔で高さ約十三㍍。ふつうは九輪の相輪だが、これは七輪で珍らしいもの。鎌足の墓塔と伝えられ、室町時代の享禄五年（一五三二）の再建になり現存唯一の木造十三塔で重要文化財指定。

本殿は三間春日造り、周囲は朱塗りの極彩色で日光東照宮のモデルになったという。嘉永三年（一八五〇）に造営。

権殿はもとの三映堂の建物、室町時代のもので重要文化財であるそのほか国宝の大和国栄原寺三重塔伏鉢や重要文化財の摩尼輪塔、絹本着色大威徳明王像などがあり毎年十一月十七日には例祭が行なわれる。明治までは神仏混淆であったため十三重塔婆などが残った。

塔の背後から山道を登ると平坦地に出る。ここは鎌足と中大兄皇子（のちの天智天皇）が蘇我討代の相談をしたところで、談山ということばの由来もここにあるといわれている。付近一帯の峰を談山といい、神社のある山は標高六一九㍍あり、大和平野から遠く大阪湾まで展望できる。国家非常のとき、泰山鳴動して神意を天下に告げたといい〝談山御破裂〟として古い史書にみえており、そのつど勅使の派遣があり〝神意〟の名目で朝廷を改制したものだともいうさくらの名所として名高い。近鉄桜井駅から南約六㌔。（写真は談神社の十三重塔）

万葉史蹟めぐり（28）

崎津荒津

地図を開いて博多湾を見ると、海の中道・志賀島が東から北にかけて孤を描き西に突き出た糸島半島と組んで湾を囲んでいる。さらに外海の入口には玄海島が浮かび、湾内には能古島が横たわっていて、あたかも船の停泊を心待ちしているかのようなたたずまいである。

○……

湾の南岸のほぼ中央に小さな岬が突き出ている。荒津崎である。内海とはいえ、名にしおう玄海灘に連らなる博多湾であるから、僅かな風にも白波が立って、岬にはまともに波頭が打ちつける。おそらく荒津と名づけられたのもそのためであろう。

しかし博多湾内の船泊りの自然条件としては、荒津崎のかげほど格好のところはない。今日岬の東側に福岡港の施設が集中しているのも当然である。ここは、大和朝廷成立以前、このあたりが奴（ぬ）の国と称していたところから港として栄え、大陸との交通の拠点であった。大宰府（筑紫都太宰府町）設置後は別「」「草枕旅行く君」には深い友情が卒直に美しく詠われているといえよう。

荒津の海吾幣（ぬさ）奉（まつり）斉ひてむはや還りませ面変りせず

○……

朝夕夕な筑紫の方を出で見つつ哭（ね）のみわが泣くいたも術なみ

も同じく送別の歌であるがこの方は愛人同志の語らいである。「毎日神様にお祈りをして待っていますから早く無事で帰って下さい」という女の言葉が純真で情感に満ちている。それに対する「毎朝毎朝筑紫の方を見ながら涙を流すだろう」の男の答も寄り添っているように親しみ深くいたわりの情がにじみ出ているとの二組の応答・相聞歌は荒津の港に咲いた暖かな友情と美しい愛の花である。

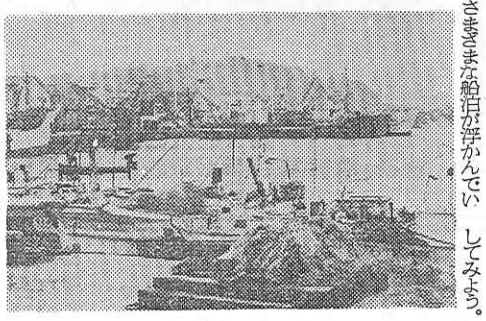
○……

白たえの袖の別を難みして荒津の浜に宿（やどり）するかも

今日の荒津崎は、西公園と呼ばれたのもそのためであろう。

草枕旅行く君を荒津まで送りぞ来つる飽きたらねこそ

は、おそらく大宰府あたりの官人が取りかわしたもので あろう。「荒津」という港を舞台にして去る方が「別れるのがつらくて荒津の浜で宿した」と詠えば送る方も「もっと一緒にいたいから荒津まで送ってきたい」と答える。「白たえの袖の



香椎潟　大伴旅人
いざ児ども香椎の潟に白たえの袖さへぬれて朝菜つみてむ
志賀島　遣新羅使人
志賀の浦に漁する海人家人の待ち恋ふらむか明し釣る魚
能古島　山上憶良か
沖つ島漕ぐ舟の帰り来ば也良の崎守早く告げこそ

（随筆家・写真も。写真は荒津港からみた荒津崎）

雄大な芦の湖と
美しい湖尻高原

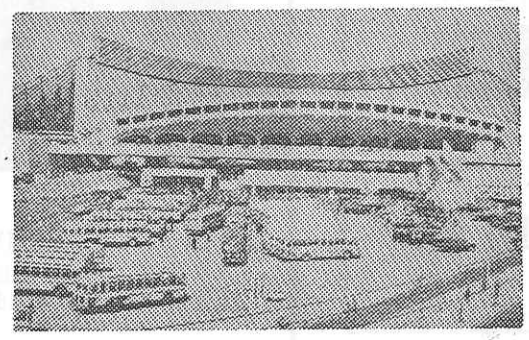
修学旅行専用旅館
箱根高原ホテル
電話　0460（4）8595(代表)

北海道修学旅行へ注文

東京都内の私立高校を対象とする北海道修学旅行懇談会は、北海道観光連盟などの主催で十月二十四日、東京・新宿のステーション・ビルで開いた。各私立高校長や担当教諭、全修協など約六十名が出席、北海道観光連盟会長広瀬経一氏の挨拶のあと関係市町村担当者から現状についての説明があったあと、高校側からの旅館の設備が一般的に悪いし、格差もはげしい②食事に北海道特産のものを出してほしい③旅館に懐中電灯の用意がほしい④非常口はわかりやすくとの要望があった。

修学旅行に…国立代々木競技場大食堂　「グリル フジランド」
東京都渋谷区神南町25　電話(467)5761・5301

◎東京の新名所
1000名様収容の大食堂
早朝食、弁当の用意もOK
値段は150円より
交通至便、無料駐車場の
広さも 300台駐車が可能
NHK放送センターが隣接、見学ができます。



フジ サンケイグループ
株式会社 フジランド
本社　東京都新宿区市谷河田町7
電話　(03) 353―1411(代)